



## 「ジャーナリズム勉強会」開催へ／復刊へ活動開始

雑誌名	筑波學生新聞
号	1993宣伝号
発行年	1993-06-07
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/105704">http://hdl.handle.net/2241/105704</a>

「ジャーナリズム勉強会」開催へ

# メディアの活きた姿を

筑波学生新聞

編集・発行  
筑波大学学生新聞会  
代表 渡辺 昭久  
〒305 茨城県筑波学園郵便局  
私書箱29号  
TEL 0298-52-4460  
振替 宇都宮6-31450  
無 料

宣伝号

一面……「ジャーナリズム勉強会」  
二面……筑波学生新聞の紹介

新聞会が主催

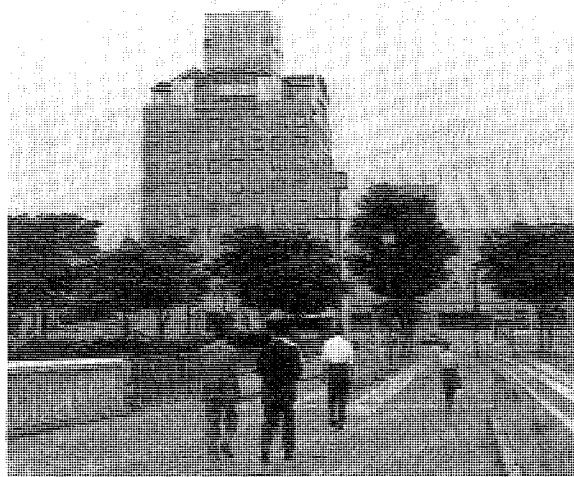
## 筑波大OBを講師に 学園ジャーナリズムに一石 復刊への第一歩として

現在第一線で活躍中のジャーナリストを講師に招いての「ジャーナリズム勉強会」が、六月十二日午後二時より、筑波大学一D二〇七教室で開催される。主催者はジャーナリズム研究会と筑波大学学生新聞会。講師として予定されているのは官林祐治氏（日本新聞協会、原田亮介氏（日本経済新聞記者）、福田忠司氏（NHK報道局ディレクター）、要浩一郎氏（報知新聞記者）、内田英憲氏（日本農業新聞記者）ら、いずれも筑波大学のOB。活発な議論が期待される。

メインテーマは「ジャーナリズムの役割と責任」。根ざしたジャーナリズム観を披露する。さらに、多くの講師のディスカッションに

の困難を抱える現在のジャーナリズムに対する問題提起を各自の立場から行う予定である。その後、講師と参加者との交えたフリートークを行う。

め、筑波大学、あるいは学都をめぐり、一石を投じるものともなる。また、今回の勉強会では、現役のジャーナリストから生きた知識を学びたい。学生をはじめ、多くの人に積極的に参加してほしい。参加者が多ければ多いほど議論が活発になり、得るものも多いはずだ」と、主催団体側では語っている。



▶発展の道をたどってきた学園都市。ここ筑波のジャーナリズムの存り方は？

### 会 告

筑波大学学生新聞会では、93年度初の企画として「ジャーナリズム勉強会」を開催いたします。

「関係ない」という一言ですべての問題から逃れられるかのように思われる現在。そのなかにもジャーナリズムの影響から逃れるのは容易ではありません。このツクバでも情報溢れに溢れているのです。しかし、それらすべてが有効であるとは考え難いと思われまふ。そこで、この勉強会では今を取り巻くジャーナリズムについて、この地ツクバで考えるひとときを持とうという所存です。

限られた時間ではありますが、筑波大のOBを講師として迎え、実りある話がなされるものと確信しております。土曜の午後、皆様の御来場を心よりお待ちしております。

記

日時 6月12日(土)  
1時30分開場 2時開演  
場所 筑波大学1D207教室  
講師 官林祐治氏  
(日本新聞協会、80年社会学類卒)  
原田亮介氏  
(日本経済新聞記者、81年比較文化学類卒)  
福田忠司氏  
(NHK報道局ディレクター、83年自然学類卒)  
要浩一郎氏  
(報知新聞記者、86年人文学類卒)  
内田英憲氏  
(日本農業新聞記者、88年農林学類卒)  
主催 ジャーナリズム研究会  
筑波大学学生新聞会

筑波大生のための店

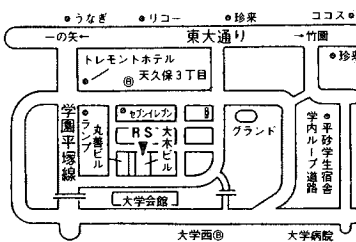
R.S.

高画質・高速・全自動  
コピー1枚10円  
お預り作業もいたします  
(特別作業以外は無料)  
(通常翌日)

高速ワープロ入力サービス・金文字製本・FAX送信・受信サービス

- 各種紙製品取扱。(更紙・中質紙・上質紙他)
- 各種製本できます。(3分)
- デジタルコピーサービス(反転他)
- フルカラーコピーサービス(A3からOHPまでOK)
- パンフレット・チケット・ポスターetcの印刷もできます。
- 文具・事務用品(本棚・デスク)各種注文できます。
- 6段スチール本棚(格安)
- 印刷関係用品格安。

つくば市天久保3-9-6 (筑波大学学生会館うら)  
オオキビル2F ☎0298-51-6293  
コピーサービス・文具・紙・製本 (AM10:00~PM12:00)



DTPパソコン高品位印刷

松枝印刷(株)

水海道市天満町2438  
TEL (0297) 23-2333(代)  
FAX (0297) 23-5865

医療法人 恵歯会

桜ヶ丘歯科

診療時間(9:30~18:00)

吾妻3-17-6

東大通り沿い

日、月、祭日  
休 診

TEL 0298-52-1518

# 復刊へ活動開始

## 筑波学生新聞

休刊から復刊へ  
休刊から復刊へ。「筑波学生新聞」が新たな活動を開始しました。

「筑波学生新聞」では、ツクバに住む学生が、そこに潜むさまざまな出来事を深く見つめてきました。いまはツクバ文化の一翼を担う存在となっている、学生メディアです。

しかし、その「筑波学生

新聞」も人手不足には勝てず、今年三月、休刊という事態に陥りました。

ところが、新学期に入り、数多くの新入生が集まり、今年三月、休刊という事態に陥りました。

「筑波学生新聞」は、自由で独立した立場から、正確で公正な情報伝達、真実

### 開学以来の伝統

## 文化の創造と議論の場に

の報道を目指してきました。

●ジャーナリズム勉強会

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

## 学生による自主メディア 学園祭で準備号を発行

自由な発想と行動力  
ツクバの学生が、大学新聞の制約を嫌って、

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

●学園祭

## 生の声を反映

### ツクバの栄養剤に

学生の味方(第84号90年3月)

「本」にやりたい学問のために

「転学」(第90号90年10月)「こんな

こと考えてます」最近の筑波大

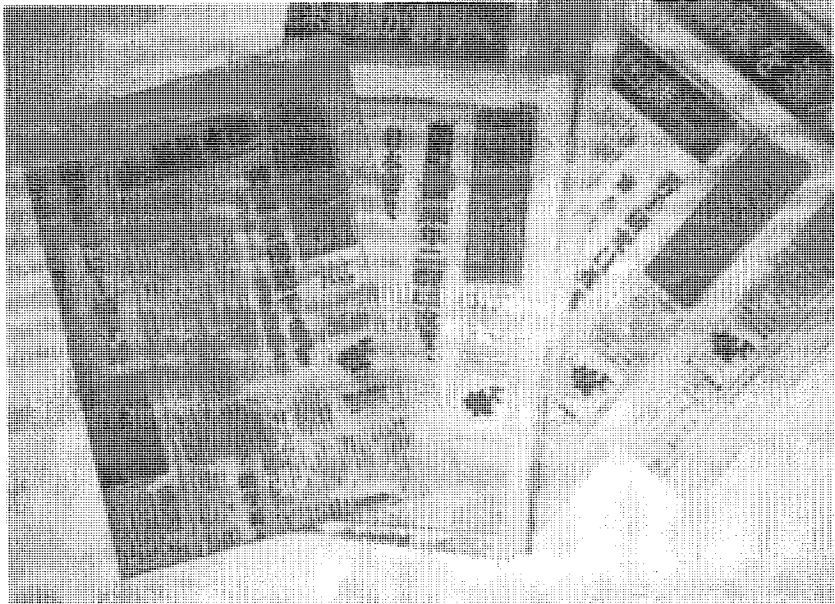
生事情」(第100号92年1月)など

◎外部の視点を導入◎

また、学生記者以外の著者によ

る連載コラムも掲載してきた。最

近では、人文卒の大塚英志氏「解

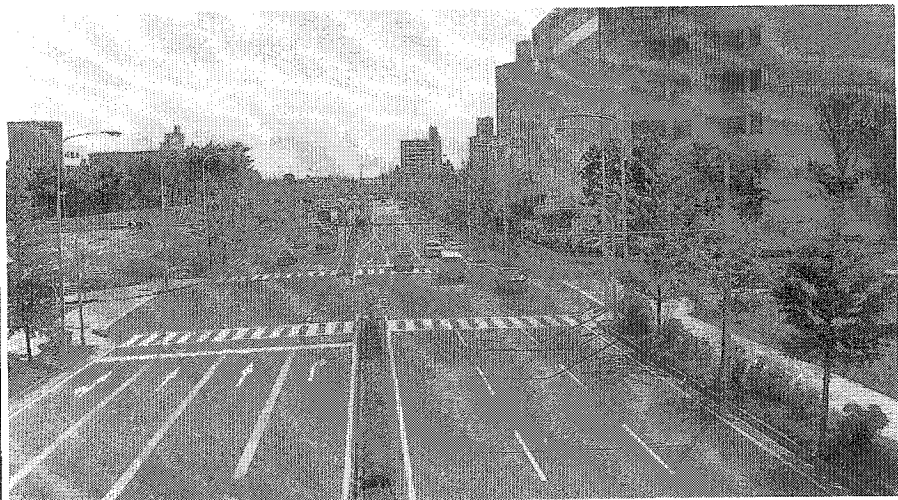


での話題、情報を様々な角度から紙面化してきた。「幻の第四学群発見!!」(第71号88年11月)「ラブホテル深夜張り付きルポ」(「原理研の実態・友達が消えた」(第73号89年1月)「ストリップ劇場ルポ」(第84号90年3月)「ドキュメント・急性アルコール中毒」(第76号89年5月)など。



▲来春の復刊へ活動を再開した筑波学生新聞の編集室

「生」の声を反映。ツクバの栄養剤に。学生の味方(第84号90年3月)「本」にやりたい学問のために「転学」(第90号90年10月)「こんなこと考えてます」最近の筑波大生事情」(第100号92年1月)など。◎外部の視点を導入◎。また、学生記者以外の著者による連載コラムも掲載してきた。最近では、人文卒の大塚英志氏「解



只今

# 準備中

筑波学生新聞  
TEL 52-4460

お役に立ちます  
**トヨタレンタカー**  
筑波学園営業所  
予約カンタン  
ゼロ100番!  
**51-0100**

御食事処  
**ふくむら**  
肉料理から魚料理まで  
和定食有り  
宴会料理承ります  
天久保3-10-11 ☎(51)6190

ネットワーク500 結成4周年記念シンポジウム  
**いま憲法を問う**  
1993年6月13日(日)13時より つくば市・竹園公民館にて  
●問題提起者  
いいだも(作家・評論家) 伊藤 成彦(中央大学教員) 降旗 節雄(帝京大学教員) 千本 秀樹(筑波大学教員)  
●司会・コーディネーター／丹野清秋(茨城大学教員)  
●主催／ネットワーク500・フォーラム90S  
●入場／カンパ 500円  
●連絡先／茨城大学農学部丹野研究室 (TEL 0298-87-1261)